

～「多文化共生」の授業（2回目）を終えて～

10月26日（水）4限、多文化共生の2回目の授業を行いました。今回は「外国の人とともに生きること」をテーマに、前半はお話「となりのベトナム人」（前編）を読み、後半はコロンビアで生活をする“りょうたさん”に送っていただいた動画を見て、学習しました。

今回の授業のふりかえりと、みなさんが書いた感想などの一部を紹介します。

≪前半：お話「となりのベトナム人」（前編）を読んで考えました！≫



～お話のあらすじ～

ある日、歩夢の家のとなりにベトナム人の家族が引っ越してきました。ベトナム人のお母さんは、「仲良くしてね」と子どものタムとフエンを紹介します。

歩夢のお母さんは、ベトナム人のお母さんに「ごみはちゃんと分けて捨ててくださいね」と声をかけますが、お家から出されるごみは分別されていません。歩夢のお母さんは「ごみの捨て方を書いたチラシも渡したのに」「日本で生活するなら日本の習慣を勉強してもらわなくちゃ」と困った様子……。

ある日、ベトナム人のお家の玄関先に、ごみの出し方がまちがっているということで、ごみ袋が戻されてしまいます。お家から出てきて戸惑うタムに、歩夢は「教えてあげる」と声をかけます。

◆ごみの分別表を見てみよう！

豊中市で配布されている「ごみの分別表」を見ました。そこには分別の仕方がたいへん細かく書かれていました。日本に来て間もない外国人の方にとって、細かく日本語で書かれた分別表を理解することはたいへん難しいのではないかという印象をもちました。

豊中市では、居住する外国人の方のために、現在6か国の言語（日本語、英語、中国語、朝鮮・韓国語、イタリア語、ベトナム語）の「ごみの分別表」がつくられています。授業では、ベトナム語で書かれた「ごみの分別表」も見ました。逆の立場になって考えたとき、あらためて外国の言語で書かれたものを理解することの難しさを実感しました。



◆お家から出てきて困るタムに、あなたならどのように声をかけますか？

- * 「捨て方がちがうから、いっしょにやろう。」 ※（ ）はそのように考えた理由
(言葉ではどうしても伝えられないから、いっしょにやって教えてあげる。)
- * 「大丈夫だよ。ゴミには分別があるからこれから覚えていこう。」
(ゴミをだした子はなにも悪くないし、これから覚えたら大丈夫だと思ったから。)
- * 「ちょっとまって、ゴミの出し方がよくないのよ。実際にやるから見て。」
(ゴミを分別する出し方を実際にやって見せて教えてあげたいから。)
- * 「タムくんだいじょうぶ？ちょっとまってね。[スマホでつぶやく] タムくん、だいじょうぶ？ごめんね。いっしょにするからがんばって！」
(どんどん教えていくよ。ということを通訳しながら教える。)
- * 「ベトナムとゴミの捨て方がちがうから手伝ってあげる。」
(日本のゴミの捨て方をしっかりと教えてあげる。)
- * 「ゴミの分別難しいよね。」
(優しく声をかけてあげると相手も少し安心するから。)
- * ゴミの分別の仕方わからないの？親よんできて教えてあげる。
(やさしくたずね、相手に教えてあげる。)
- * 「日本の文化を教えるよー。」
(文化から教えてあげないと分からないから。)
- * ゴミの出し方をベトナム語で書いた紙をわたす。
(日本語のやつは分からないと思うから。)



《後半：コロンビアで生活する“りょうたさん”の動画を見て考えました！》

～りょうたさんのお話（要点をまとめたものです）～

私は、コロンビアでYouTube(ユーチューブ)やTikTok(ティックトック)で資金を得ながら、現地の子どもたちへの教育支援や食糧支援の活動をしています。



文化的な面は、日本では“仕事”が生活の中心といった印象ですが、コロンビアではダンスが好きなど“楽しむ”ことを人生の目的にしているという感じです。経済的な面は、コロンビアでは平均の給料が月4万円程度で、月1万3千円以下の貧困層、さらに収入が少ない超貧困層といわれる人たちが全体の20～30%います。私はスラム街で子どもたちに英語を教え、肉や魚などの食糧を寄付しています。治安の面は、コロンビアではよく自転車や車などが盗まれたり、夜出歩いていると強盗にあたりして、あまりよくありません。

ラテンアメリカではアジア人は圧倒的にマイノリティ（少数者）なので、私も差別を受けることがあります。私は日本のイメージを変えたいと思っています。私を好きになってもらうことで、日本を知りたいと思ってくれる人が増えればと思い、日々奮闘しています。

私は外国の人はその国の文化に従うべきだという考えはまちがっていると思います。私はもっと、マイノリティ（少数者）や多様性を受け入れてほしいです。インターナショナルに視野を広げて行ってほしいです。いったん自分で受け入れてみて、考えて、かみくだいてから、自分の結論を出してほしいです。この思考をくり返すことは、いずれはいい経験になり、人生を豊かなものにしてくれるはずです。

～りょうたさんのお話を聞いて（感想）～

*日本とコロンビアの違いを聞いて、それぞれの国の違いがあって良さがあったりして、違いを受け入れてその国の良さを見つけて、いろんな人が楽しくいれればいいなと思いました。

*自分と違う考えを受け入れるというところが、ぼくは心にひびきました。ぼくは、自分の考えが一番だと思うときがたまにあるので、他の人の考えをこれから取り入れようと思います。日本はLGBTQの方、外国人の方をなんとなくさけるイメージがあるので、次の世代のぼくが気持ちを理解して、助けてあげたいと思います。日本が世界に遅れないように努力しないといけないなと思います。

*りょうたさんのお話を聞いて、お互いの文化を受け入れることの大切さを改めて感じました。日本では治安が良いから安心して暮らせるけど、コロンビアの人は治安が悪いから不安な気持ちをかかえて生活しなきゃだめなことを知って、大変なこともあるんだと思いました。私がコロンビアの文化でやってみたいと思ったのは、生活の中で自分がしてみたいことをたくさんやって楽しむところで、すてきななあと思いました。私もダンスが好きなので、コロンビアの生活もしてみたいです。りょうたさんのお話を聞いて、改めてこれからもお互いの文化を受け入れていきたいと思いました。お話をしてくださってありがとうございました。

*自分の価値観が合わなかったり、日本全体ではマイノリティだとされているけど、その常識というわくにとらわれずに考えていけたらいいなと思います。

*すごくポジティブに考えていてカッコいいと思いました。マイノリティを受け入れることは大事だとこの話を聞いて思った。多様性がこのクラスにもあっていいと思う。外国の文化も知ろうとしないと、日本が孤独になるから文化を知ろうと思った。

*多様性やマイノリティを受け入れることが大切だと知って、これからの社会で少しずつでもそのことが受け入れられるために、私も協力したいと思いました。

*差別を受けたりしているのに、コロンビアの子どもたちに勉強を教えるのは、すごく優しいと思いました。

*コロンビアは、仕事より自分とか家族を優先するんだと聞いて、とても楽しそうだなと思いました。肉を寄付したり、魚を寄付したりするのは、とてもすごい事だと思ったし、私もそんな風に優しい人間になりたいと思いました。日本と海外では全然ちがうんだとあらためて思いました。同性を好きになるのはあたり前と聞いて、少しおどろきました。いつか日本もそれがあたり前になるのかなとも思ったりしました。治安が悪いとか聞いて、全くちがうんだといろんな事が分かりました。

*どの国にも、どの国よる優れている所があり、少し悪い所もある。それを受け入れるのが多文化共生なんだと思った。何でも一度受け入れることが大切だと思った。

*りょうたさんのお話を聞いて、色んな国の文化を知って行って受け入れていこうと思いました。日本に来たからと言って、その国の文化を否定するようなことが減っていったらいいなと思いました。

*りょうたさんは、差別を受けながらも、がんばっていてすごいと思いました。SNSで色々な発信をしていると聞き、私もいつかやってみたいです。

*アジア系の人だから差別を受けるのはちがうと思いました。それでお金があると思われて狙われやすいのも大変だと思いました。外国人だからって、その国に全部あわせないとイケないのは、ちがうので、どちらとも受け入れればいいと思いました。

*コロンビアは仕事中心じゃなくて、楽しむのが中心で楽しそう。日本よりコロンビアはお金がないから、治安が悪いなんて知らなかった。でも、それを受け入れようとするのは素敵だと思った。レズビアンなどの人たちがふつうに好きな人とかの名を出せて、ふつうに受け入れているのは、とてもいいなと思いました。

*互いの国の文化を尊重しないとイケない。多様性、マイノリティを受け入れる。LGBTQを受け入れる考え方を、他国と自国どちらとも考え、尊重できる国づくり世界づくりをしていかないといけない。多いから偉い、少ないから発信力がない、差別されるような、個人の思いだけに任せた、考え、方針を視野に入れてはイケない。ちがいを認めわかちあえる世界をつくっていかないとイケない。